

ひたちなか市議会だより

新たな議会がスタートしました



改選後初の議会を開催
正副議長など議会人事が決定

10月22日に行われた市議会議員選挙
 によって新しく25人の議員が選ばれ、
 新議員による臨時会を11月14日に開催
 しました。議長、副議長の選挙をはじ
 め、各常任委員会などの構成も決ま
 り、市民の負託を受けた4年間の議会
 活動がスタートしました。

なお、議長選挙の後、議員提案によ
 る市議会委員会条例の一部改正議案を
 提出し、原案のとおり可決しました。

次に、市長から専決処分^{せんけつしゅぶん}の報告3件
 が報告された後、監査委員の選任に同
 意し、閉会しました。

もくじ

No.125 令和5年12月10日

正副議長あいさつ	2
会派紹介	2
委員会構成	5
その他の議会人事	6
編集手帳	6

正副議長あいさつ



議長
薄井 宏安

一意専心の覚悟をもつて

市民の皆さまには日頃より市議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

11月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、第16代議長に就任いたしました。議長という職責の重さに身の引き締まる思いであります。

来年は、市政30周年を迎える節目となる中、二元代表制の一翼を担う私たち議員は、市民の皆さまから負託を受け、その声をしっかりと受け止め、市の施策に十分反映できるように、市長はじめ執行部と緊張感を持ち切磋琢磨してまいります。

議長として円滑な議会運営を心掛け、市民に開かれ信頼される議会となるよう一意専心努める覚悟でございます。今後とも、市民の皆さまの格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
雨澤 正

市民に開かれた議会を目指して

多くの議員の皆さまからのご推挙をいただき、ひたなか市議会の副議長に就任いたしました。大変光栄なことであり、身の引き締まる思いであります。

少子高齢化や人口減少の対応をはじめとし、いまだ多くの課題が山積しております。

市民の皆さまからの声をしっかりと受け止め、本市の施策に十分反映するため、議員の皆さま方ならびに市長をはじめとする執行部の皆さまのさらなるご指導をお願いしまして、住んで良かったと言える、魅力あるひたなか市になるよう努めてまいります。

明年は、ひたなか市誕生30周年を迎えます。さらなる本市発展に向けて進めるためにも、微力ながら円滑な議会運営に努め開かれた議会を目指してまいります。どうぞ皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新たな
会派構成が
決まり
抱負を語る
(5会派1諸派)

未来ひたなか

市民の声で人に優しいまちづくり

未来ひたなかは、今期から9名の議員団となり、より充実の体制となりました。

市民の皆さまが、住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心安全に暮らせる人に優しいまちづくりを進めてまいります。そのために、市民の目に立つて声なき声を拾い上げ、行政に届けることを第一に進めますとともに、県北のエンジンといわれる本市産業の活性化を図り、また少子高齢・人口減少への対応、社会基盤整備などに取り組んでまいります。

市民の負託に応え、市政発展のために活動してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻いただきませう、よろしくお願いたします。



清水 健司



安 次男



田中 高司



代表 大谷 隆



打越 浩



大内 聖仁



海野 富男



弓削 仁一



大内 健寿

(写真の並びは、代表以下議席番号順。以下同じ)

新生ふるさと21

開かれた議会を 目指して

市民の皆さまに親しまれる議会となっているだろうか。私たちは、この疑問に自問自答してまいりました。親しまれる議会となるためには、市民の皆さまにもっと関心を寄せていただき、参画していただくことが必要でありませぬ。

それにはまず、十分で分かりやすい行政情報・議会情報の発信が不可欠であります。議会だよりでの広報に加え、その他の媒体での発信も検討し、現在試験配信中の本会議に続き、委員会のライブ配信や、車いすの方や子育て中のお母さん方に傍聴していただくための制度も提案してまいります。



代表 清水 立雄



安 のり子



井坂 涼子



萩原 健



鈴木 道生



薄井 宏安



日新クラブ

市民目線で暮らしやすい まちづくり

日新クラブは、「日々これ新たななり」をモットーに昭和33年に結成され、「市民の目線」「生活者起点」を原点として、皆さまの声を市政につなげる活動に取り組んでまいりました。

少子高齢化、人口減少、自然災害が多発する中、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、産業の活性化、子育て環境と福祉政策の向上、財政基盤の強化、防災体制の強化に取り組むとともに、多様化する社会ニーズに対応した提言を積極的にを行い市民の負託に応えてまいります。

今後とも市のさらなる発展と暮らしやすく魅力あるまちづくりのため、皆さまのご支援とご指導をよろしくお願いいたします。



代表 三瓶 武



鎌田 政人



北原 祐二



公明党議員団

「小さな声を大切に」
生活者優先の
まちづくり

市民の皆さまには、日頃より真心のご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

3年に及ぶ新型コロナウイルスとの戦いも新たなフェーズとなり、新たな生活が始まりました。

公明党議員団は、皆さまの声を真剣に受け止め、生活者優先のさまざまな政策を実現してまいりました。

これからも「小さな声を大切に」すべての人が希望と生きがいを持って暮らせる社会の実現と「ひたちなか市に住んで良かった」と言えるまちづくりのため、さまざまな課題が山積する未曾有の危機の時代に真正面から取り組んでまいります。

これからも皆さまのご指導ご支援をよろしく願います。



代表 雨澤 正



山田 恵子



加藤 恭子



社民・立憲民主

市民の声を
市政に活かす

私たちは、市民の目線に立った政策として主に、①「いのちと暮らし」を守ります。高齢化社会にあって、在宅介護、老老介護などの課題についても介護保険サービスの拡充が求められており、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをめざします。②「子育て・教育への応援」です。少子化対策は待ったなし、早急に支援の拡充が求められており、給食費の無償化など進めます。③安心・安全を目指します。公共交通の充実をはじめ、市が策定している東海第二原発事故に備えた「広域避難計画」は実効性の伴うものを求めていきます。

市民の声を市政に届け、活かす政治を実現するために頑張る決意です。



代表 井坂 章



鵜澤 恵一



大久保 清美



諸派 (日本共産党)

安心して
暮らし続けられるまちに

東海第二原発の再稼働ストップ、くらし・福祉・子育て最優先の市政実現に向け、引き続き全力を尽くします。

非正規雇用の広がりが格差と貧困を深刻にし、物価の高騰で暮らしが本当に大変なとき、国は社会保障を削減し空前の大軍拡です。今ほど、国の悪政から住民のいのちと暮らしを守る地方自治体の役割が求められているときはありません。

私は、「誰もが安心して暮らし続けられるあたにかいまち」を目指して、皆さまの切実な願いを議会に届け実現に力を尽くします。



宇田 貴子

各委員会などの構成が決まりました

◎委員長
○副委員長

総務生活委員会

企画部、総務部、市民生活部、会計課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会に属さない事項について、市民とともに知恵と力を合わせたまちづくりや市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

文教福祉委員会

保健福祉部、子ども部および教育委員会の所管に属する事項について、生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくりと子育て世代に選ばれるまちづくりを目指して福祉・教育の充実を推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

経済建設委員会

経済環境部、農業委員会、建設部、都市整備部および水道事業所の所管に属する事項について、地域経済の活性化にぎわいのあるまちづくりと快適で機能的な住みよいまちづくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

予算委員会

一会計年度の収入・支出の見積もりである歳入歳出予算について、各会計の当初予算および補正予算を審査し、効果的・効率的な行政運営などの均衡抑制を図ります。

決算委員会

一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、会計ごとにその内容を調査・確認した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうか審査します。



(前列右から)
雨澤 正
○井坂 涼子
◎井坂 章
打越 浩
(後列右から)
鈴木 道生
鎌田 政人
田中 高司
大内 聖仁



(前列右から)
宇田 貴子
○萩原 健
◎清水 健司
山田 恵子
(後列右から)
大久保清美
海野 富男
北原 祐二
大内 健寿



(前列右から)
三瓶 武
○加藤 恭子
◎弓削 仁一
清水 立雄
(後列右から)
安 次男
大谷 隆
鶴澤 恵一
安 のり子

◎清水 立雄
○安 次男
鶴澤 恵一
安 のり子
清水 健司
萩原 健
山田 恵子
雨澤 正
北原 祐二
海野 富男
大谷 隆
井坂 章

◎大内 健寿
○井坂 涼子
大久保清美
宇田 貴子
鎌田 政人
田中 高司
鈴木 道生
加藤 恭子
弓削 仁一
大内 聖仁
三瓶 武
打越 浩

議会広報委員会

開かれた議会を目指し、市民に親しまれ、理解される議会広報を推進します。

- ◎山田 恵子
- 田中 高司
- 鵜澤 恵一
- 安 のり子
- 井坂 涼子
- 鎌田 政人
- 安 次男
- 大谷 隆

議会運営委員会

議会運営を円滑に行うため、議会運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項、議長の諮問に関する事項について協議・調査します。

- ◎海野 富男
- 北原 祐二
- 大久保清美
- 鈴木 道生
- 山田 恵子
- 弓削 仁一
- 清水 立雄
- 打越 浩
- ◎委員長
- 副委員長

広域連合議会議員

広域連合議会の議員が、次のとおり選出されました。

- 茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員
- 雨澤 正

一部事務組合議会議員

一部事務組合議会の議員が、次のとおり選出されました。

- ひたちなか・東海広域事務組合議会議員
- 大久保清美
- 井坂 涼子
- 雨澤 正
- 北原 祐二
- 海野 富男
- 大内 聖仁

用語解説

党派と諸派

党派とは、議会内において、市政に対して同じ考えや意見を持っている者が効果的に市政に反映させるため結成

した集団のことをいいます。本市議会においては、3人以上を党派としており、2人以下は諸派として取り扱っています。

党派は、代表質問をする事ができたり、委員会の人事などが所属議員数によって割り当てられるなどの利点があります。

議会選出監査委員に鈴木道生氏を選任同意

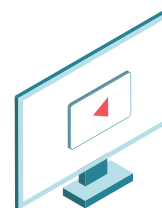


監査委員
鈴木 道生

ひたちなか市監査委員の選任については、市議会議員から選任していた薄井宏安氏が去る10月31日をもって任期満了となり退任されたことに伴い、後任の委員として鈴木道生氏を選任することに同意しました。

同氏は、平成23年11月、ひたちなか市議会議員に就任して現在に至っており、その間、総務生活委員会委員長、議会広報委員会委員長などを歴任されています。

本会議生中継を配信しています



本会議生中継を配信しています。本会議開催日当日に市議会ホームページのトピックスにアクセスしていただき、本会議生中継配信（試験配信）内のYouTubeのURLをクリックしてご視聴ください。



編集手帳

10月22日執行のひたちなか市議会議員一般選挙を経て11月1日から新生議会がスタートしました。11月17日には、新たに選任された8名の議会広報委員による委員会を開催し、広報活動について協議しました。当委員会では、市議会が市民の皆さまに親しまれ、より身近なものと感じていただけるよう議会の活動内容を分かりやすくお伝えしてまいります。今後とも、読みやすい議会だよりの発行や若い世代の方にも興味や関心を持っていただけるようデジタル媒体を活用した情報発信など、開かれた議会を目指し、広報活動に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。……………(山田 恵子 記)